

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数) 2人
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童達が来所することを楽しみにしてくれている。	・児童達自身でやりたい事や遊びを決めてもらい、その中で必要な支援を行っている。 ・季節に沿った(クリスマス会等)イベントを行っている。	・児童達や御家族も楽しめるような外出やイベント等の機会を増やしていく。
2	保護者支援及び関係機関との連携。	・保護者からの相談に応じ、問題解決や改善策に積極的に取り組んでいる。必要に応じて、保育園や相談支援事業所と情報の共有を行う等の連携することができている。	・引き続き、保護者のニーズに応えていけるよう、関係機関との連携を緊密に図っていく。また、保護者の不安や悩みに迅速に対応し、安心していただけるよう努めていく。
3	手厚い支援体制	・利用児童に対し、十分な職員の人数を配置している。 ・勤続5年以上の職員が半分以上いるため、児童やそのご家族とも良好な関係が築けている。	・研修等に参加し、職員の質を向上させていくとともに、人員の更なる配置も検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	・散歩や公園等で他の保育園や幼稚園の児童と会うことはあるが、一緒に遊んだり交流することはできていない。 ・感染症にも気をつけていかなければいけない。	・児童館への外出を計画し、交流する機会をつくる。
2	子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供ができていない。	・保護者からの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みはできていない。	・御家族に向けた研修会等も出来るように検討していく。
3	活動スペースが少なくなってしまう日がある。	・放課後等デイサービスとの多機能型の事業所のため、祝日は児童発達支援の児童と放課後等デイサービスの児童と一緒に過ごされているため、活動スペースが普段より狭くなってしまう。	・様々な年齢の児童と関わりを持つことは児童達にとって良い経験であるため、完全に分けることはせず、物の配置や放課後等デイサービスの児童達のスペース考え、児童発達支援の児童が活動できるスペースをしっかりと確保できるようにしていく。